

寺報

No.616

平成30年12月

蓮華寺
行

御聖訓

善ぜんに付つけ、悪あくに付つけ、法華經ほけぎょうを捨すつる、地獄じごくの業ごうなるべし。

『開目鈔かいもくしやう』



(解説)

日蓮大聖人は、法華經はただ単にお釈迦様の御教えを説いたものではなくて、法華經そのものが我々の『生命の元』なのだとお教えになりました。

ですから、自分に様々な苦難・誘惑・脅迫が降りかかるうとも、法華經の為には命がけで、身を捧げようと決意されたのです。

つまり、自分の法華經に対する主義主張を打ち破る者が現れない限りは、たとえ命を奪われようとも、その決意は曲げないという事です。

しかし、この大聖人の意に背き、信徒の中には、身勝手な理由を付けては、法華經を捨てて行く者もいました。

いかなる理由に付け、法華經を捨てるという事は、自らの命を捨てる事と同じですから、大聖人はその者は必ず地獄に落ちるだろうと戒められたのです。我々は、過去から現在、そして未来へと、この大切な命を受け渡していかなければならないのです。

どうか他の教えに惑わさる事なく、不退転の心を持って、法華經・お題目を唱えていきましよう。

変身した大黒様

大黒様は、もともとインドの神であり、名をマハーカール（摩訶迦羅）といいます。この名の示す通り摩訶大、迦羅黒と訳され、いわゆる暗黒の神で、破壊する力と共に、総てのものを救う力を兼ね備えた神様としてあがめられていました。ご覧のように三つの顔を持ち、髪は火のごとく逆立ち手が六本という怖い顔をした三面六臂のお姿でありますが、今の大黒様からは想像も出来ませんが、三面の理由は、大黒天には戦闘・財福・冥府（地獄）



の三つの性格が備わっているからだといわれていますが、このお姿では、いかにも戦いの神様だと感じられます。大黒天は、その後仏教に取り入れられてからも、戦いの守護

神として信仰され祭られていましたが、やがて中国に仏教が伝えられると、戦闘の神よりも財福の神として



重んじられ、寺院の厨房（食堂）の守り神となりました。そして、この時インドの衣装から唐服へとドレスアップしたのです。

日本には、伝教大師最澄上人によって伝えられ、比叡山の厨房に祭られるようになりました。そして、食の縁で米俵と結びつけられ、特に農家では田の神様としてあがめられ、その後豊作の神、ついは福の神となったのです。

ともかく、打出の小槌を持って米俵の上に乗るようになったのはこの農業の神となった頃からですが、それと共にニコニコ顔の優しい、また福々しいお顔に変身していったのです。

また、日本古来の神話にあります『イナバの白兔』で有名なオオクニヌシノミコト（大国主命）の「大国」



と「大黒」との発音が似ているところから同一視されるようになり、七福神の仲間入りをしてエビス様と共に民間に信仰されるようになりました。

我が宗では、日蓮大聖人がお弟子さんに「この大黒天を信仰することにより所願成就し、現世安穩、後生善処の樂を得るであろう。」と大黒様を信仰する事をお勧めにしています。

その後、大黒天信仰が盛んになり、日蓮宗の守護神として重要な位置を占めるようになりました。

日蓮宗の大荒行堂では、参行三百日目の修行僧に初めて、この大黒天の秘法を相伝するのです。

以上、このようにめぐりめぐって変身してきた大黒様は、今では我々にとって欠かす事の出来ない大切な神様となったのです。

大黒祭

当山では、**十二月二日（日）**午後十二時半より恒例の大黒様のお祭りが行われます。

大黒様は、大去垢・大古久とも書き、一年の垢を取り、古（いにしえ）よりこの先、久しく我々を守ってくれる神様という意味です。

どうか、新しい年、平成三十一年を迎えるに当たり、家庭の幸福を願ひ、大黒様をお清め致しましょう。

当日は、法要後空くじなしの福引きがありますので、ご家族・ご友人お誘いの上、ご一緒にお参り下さい。賞品は、大黒様始め、沢山用意しております。

☆ 靈断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法として『九識靈断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【ご相談料は原則として三千元です】必ずご予約をお願いします。 ☎776-5840

お知らせ

盛運祈願会【一月分】

平成三十年十二月二十九日(土)午後二時より

④平成三十一年の一月一日は、『元旦祝祷会』がありますので、月例の『盛運祈願会』は行われません。よって、今年の十二月二十九日に「一月分」のお守りをお渡し致します。

元旦祝祷会

平成三十年十二月三十一日(月)午後十時開門

④『元旦祝祷会』にご参拝の方は、お寺の開門が大晦日の「午後十時」となっていますので、お時間にご注意の上お参り下さい。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、任職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

『元旦祝祷会』法要次第

平成三十一年一月一日(火)午前〇時より読経開始

※年の初めのお勤めですので、心を込めて一緒に読経(聖典)とお題目を唱えましょう!

『御祈祷』の時間にご注意の上、ご参拝下さい。

式次第

礼拝文「謹みて礼拝し奉る」	〔4ページ〕
開経偈「無上甚深微妙の法」	〔6ページ〕
御経「方便品第二」	〔9ページ〕
普賢菩薩	~
勸発品第二十八	〔35ページ〕
懺悔文「夫れ懺悔は治病の」	〔47ページ〕
御妙判「祈 禱 鈔」	〔67ページ〕
④御祈 禱(一回目)《午前〇時半頃》	
④御祈 禱(二回目)《午前一時半頃》	
宝塔偈「此 経 難 持」	〔72ページ〕
回向文「導師が唱えます」	
四誓願「誓つて南無妙法蓮」	〔76ページ〕
三整唱「なむめうほうれん」	〔77ページ〕
弾指合掌(祈りを込めます)	

お寺からのお礼

「御会式」や「年中行事」の際、御寶前にお供物等を特別奉納された皆様へ、心より御礼申し上げます。

*お米奉納の皆さん

- 【講 中】
- 油川 講 中 浜田信力講中 三内妙心講中
 - 駒込 講 中 大野妙法講中 夏井田講中
 - 八ツ役 講 中
 - 【金 木】角田 耕二 【小 橋】工藤 鐵弘
 - 【入 内】大柳 政世 【八幡林】三上 尚之
 - 【夏井田】溝江 悟 【大別内】杉淵 昌三
 - 【三 内】吉崎 清三 【中 佃】三浦三千男
 - 【新町野】和田 信子
 - 【八ツ役】藤林 昭一・鳴海 孝志・五戸 精氣
 - 【大 野】渡辺 司・渡辺 和司・福井 竜一
 - 【長 島】奈良 重徳・雪田 喬・雪田 隆之
 - 雪田 隆逸・雪田 葉子
 - 【浜 田】三上 信廣・安田 武勝・木村 貴之
 - 【本 町】角田 祈保・角田 経一
 - 【他有志】同・匿名希望者

*「御会式」の献花

【盛 花】三浦 忠夫(寺院サービス)

*「年中行事」への

献花・お供物等

- ◎聞法寺(工藤堯幸) ◎妙現寺(秋田堯瑛)
- ◎要心寺(加藤知宏) ◎道円寺(飛鳥玄龍)
- ◎無量結社(工藤妙淳) ◎小野寺民也
- ◎甘精堂(三浦敬祐) ◎成田キヨ子
- ◎大黒講中一同 ◎采木村青果
- ◎斉藤 恵・井下 龍惺 (順不同・敬称略)

その他、檀信徒の皆様よりの沢山のお神酒・お供物・お燈明料等誠に有り難うございました。

『提灯』の募集!

当山で「お正月」「鬼子母神大祭」「御会式」に下げます『提灯』(トロー)を募集しています。作成価格は八千円、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ計一万円となります。

お正月のお札と付届の受付

例年の如く、お正月のお札と付届（お灯明料）を十二月より受付致します。

なお、事務所は十二月三十日までは（午後五時）まで開きますが、三十一日大晦日は元旦の準備の為（午後三時）で閉めさせて戴きます事をご了承下さい。

〈お札の種類〉

- ◎御守護札
- ◎家内安全のお札
- ◎自動車のお札
- ◎交通安全のステッカー各種
- ◎五段のお守り
- ◎カード型御本尊のお守り
- ◎平成三十一年度の暦
- ◎平成三十一年度のカレンダー
- ◎御幣（白）
- ◎大黒様の御幣（三本立）
- ◎特殊御幣（三宝荒神、七面様、龍神様など）

◎この中で特殊な御幣は、お早目にお持ち下さい。

*なお『元旦祝祷会』の祈願・特別祈願も受付ます。この時差し上げます「熊手」「破魔矢」は、ご祈禱済みです。

『御守護』札は 必ず貼付しましょう！

当山で、毎年年末に用意致します『御守護札』は蓮華寺の檀家である証明と、その家をご守護する為のお札ですので、必ず玄関に貼付するようにして下さい。まだ檀家の中でも知らない方がいる為に貼付していない家庭が沢山あります。

どうか、今年度より、必ず貼付するようにお願い致します。



（一枚五百円）

また、今年度中にご不幸がありましたご家庭でも、御札・御幣等は必ず毎年取り替えるようにして下さい。

◎檀信徒の皆様で、お引越しまたは住所や町名に変更がございましたら、必ずお寺に御連絡戴きますようお願い申し上げます。

蓮華寺事務所 ☎ 776-5840

十二月の行事

- 一 日（土）盛運祈願会 午後一時より
 - ・お守り【霊神符】の交換の日です。
 - ・お守りは、お勤めに参拝して戴きましよう。
 - ・聖典（お経本）と数珠は必ずご持参下さい。



二 日（日）大黒祭 昼十二時半より

十三日（木）日蓮大聖人のご命日 午後一時より
 ・お経 如来神力品第二十一（訓読・日本語読み）
 ・お経 如来寿量品第十六（真読・漢字読み）
 ・大聖人へのご報恩を忘れずに、参拝して下さい。

二十九日（土）盛運祈願会 午後一時より

◎【平成三十一年一月分】

平成三十一年 一月一日（火）元旦祝祷会 午前〇時より

☆奉仕のお知らせ

二 日（日）大黒祭のお手伝い 午前九時より

二十八日（金）元旦祝祷会の準備 午前九時より

【幕、ノボリ、提灯の掲揚】

三十一日【大晦日】（月）元旦祝祷会のお手伝い

◎新年初めてのお勤めですので、ご参拝を兼ねてご奉仕もお願い致します。

平成三十一年

一月三日（木）元旦祝祷会の後片付け 午前十時より

*『大黒祭』と『元旦祝祷会』はお手伝いが沢山必要ですので、一般檀信徒のご奉仕もお願い致します。当日、時間までにご集合下さい。

奉仕部長・山田兼補 伝道部長・小野正春 教宣部長・杉淵昌三

元旦祝禱会

平成三十一年一月一日 (火)

午前0時より午前二時まで



(年頭記帳・法楽加持祈願・厄除熊手・破魔矢)

◎年頭の行事ですので、必ず参拝し一緒にお経とお題目を唱えましょう。

◎祈願【千円・熊手付】、特別祈願【二千円・破魔矢付】は十二月十日より受付ます。

⑨『午前二時半』には閉門となります。

⑨元旦のお勤めはこの時間帯にしか行いません。